

第 10 期第 1 回北海道水産業・漁村振興審議会 議事録

日時：令和 4 年 1 月 24 日（月）14:00～16:00

場所：第 2 水産ビル 8 B C 会議室

【出席者】

委員 川崎会長、木村副会長、伊藤委員、尾崎委員、加藤委員、川崎委員、小西委員、  
竹田委員、坪江委員、糠塚委員、藤原委員、堀委員、盛田委員、山田委員、渡邊委員  
(委員出席者 15 名)

道庁 水産林務部長、次長、水産局長、技監、水産基盤整備担当局長、水産経営課長、  
水産支援担当課長、水産振興課長、漁港漁村課長、漁業管理課長、総務課長、  
企画調整担当課長ほか  
(道庁出席者 18 名)

発言者	内 容
山口企画調整担当課長	<p>それでは定刻になりましたので、ただいまから第 10 期第 1 回北海道水産業・漁村振興審議会を開催いたします。司会進行を担当いたします水産林務部総務課企画調整担当課長の山口でございます。どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>本日は、新型コロナウイルス感染症対策といたしまして、オンラインで開催してございます。開催方法が変更になりましたことをご詫び申し上げますとともに、何かとご不便をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>開催に当たり、主催者側を代表いたしまして、水産林務部長の佐藤からご挨拶申し上げます。</p>
佐藤水産林務部長	<p>水産林務部長の佐藤でございます。審議会の開催にあたって、一言ご挨拶をさせていただきます。</p> <p>新型コロナウイルスの感染が再度拡大をして委員の皆様には、オンラインで参加をいただくことになりました。ご多忙な折、開催の準備にご尽力をいただいたことに、まずは感謝申し上げます。また、一堂に会しての会議ではないことから、何かとご迷惑をおかけすることもあるかと思っております。お詫びを申し上げます。</p> <p>さて、本日の審議会ですけれども、第 10 期の第 1 回ということでございまして、新たに就任をいただいた 4 名の委員の皆様を迎えまして、引き続き、本道の水産政策についてご指導ご助言をいただくこととしております。委員の皆様には、よろしくお願いたします。</p> <p>さて、本道の水産業を取り巻く情勢について少し触れてみますと、昨年の漁業生産量は 110 万トン、生産額は 2500 億円程度となる見込みでございます。ホタテなど、主要魚種の魚価の上昇や、輸出が好調であったことから、生産額は</p>

昨年を上回る状況ということでございます。

一方で昨年9月に太平洋沿岸で発生した赤潮によりまして、ウニなどが深刻な被害を受け、現時点での被害額は80億円を超えております。漁業生産の一刻も早い回復と、漁業者の皆様を経営を維持していくことが喫緊の課題となっております。国の補正予算などを有効に活用して、着実に対応して参りたいと考えております。また、秋サケ、サンマ、イカなどの回遊魚は依然として不漁が続いております。どのように資源を確保するのか、持続的な漁業生産や漁業者を支える仕組みに何が必要か、何をすべきかを真剣に考えなければいけない時期に来ております。こうした状況を踏まえて、道では令和4年度に水産業や漁村の振興の施策の柱となる新たな北海道水産業・漁村振興推進計画をスタートすることとしてございます。コロナ禍で道民生活の食のスタイルが変わりつつあり、巣ごもり需要、ネットでの食材の購入といった大きな動きをとらえて、道産水産物を道内外に全力で売り込み、需要をしっかりと掴むとともに、栽培漁業をはじめ漁業生産回復の道のりをしっかり計画に位置付け、将来にわたって夢と希望に溢れた本道の水産業の振興に資するよう検討を重ねていく考えでございます。

本日の議題でございますけれども、赤潮による漁業被害、水産業・漁村振興推進計画の2点のほかに、国の次期水産基本計画の概要を報告事項としてございます。委員の皆様には忌憚のないご意見をいただくようお願い申し上げます。簡単でございますが挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願ひいたします。

山口企画調整担当  
課長

それでは、今回が第10期初めての審議会となりますので、会議に先立ちまして、委員の方々をご紹介させていただきます。委員名簿の五十音順にご紹介させていただきますので、マイクをオンにしていただき、お名前など一言ご発言をいただければと思います。

まず、北海道機船漁業協同組合連合会理事であります、伊藤委員でございます。

伊藤委員

伊藤でございます。本日はよろしくお願ひいたします。

山口企画調整担当  
課長

続きまして、北海道漁協青年部連絡協議会会長の尾崎委員でございます。

尾崎委員

北海道漁青連の尾崎です。よろしくお願ひします。

山口企画調整担当  
課長

続きまして、株式会社まちづくり観光デザインセンターCEOの加藤委員でございます。

加藤委員

初めまして。札幌在住ですけれども、179の町全部に滞在している、動く加藤です。どうぞよろしくお願ひします。

山口企画調整担当 課長	北海道漁業協同組合連合会代表理事会長の川崎委員でございます。
川崎委員	川崎です。よろしくどうぞお願いいたします。
山口企画調整担当 課長	続きまして、日高管内漁業士会北海道指導漁業士の川崎委員でございます。
川崎委員	皆さんはじめまして。漁業士会の川崎です。この度、委員に任命していただき本当に恐縮ながらも、光栄に思っております。皆さんとともに粉骨砕身の心構えで一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。
山口企画調整担当 課長	続きまして、北海道大学大学院水産科学研究院研究院長の木村委員でございます。
木村委員	木村です。よろしくお願いいたします。
山口企画調整担当 課長	続きまして、フードライターの小西委員でございます。
小西委員	今期もどうぞよろしくお願いいたします。小西です。
山口企画調整担当 課長	続きまして、丸水札幌中央水産株式会社代表取締役社長の竹田委員でございます。
竹田委員	札幌中央水産の竹田と申します。皆さんよろしくお願いいたします。
山口企画調整担当 課長	続きまして、生活協同組合コープさっぽろ理事及び組合員活動副委員長の坪江委員でございます。
坪江委員	2期目になります坪江と申します。組合員代表として出席させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。
山口企画調整担当 課長	続きまして、北海道水産物加工協同組合連合会理事であります糠塚委員でございます。
糠塚委員	こんにちは。今年もよろしくお願ひします。
山口企画調整担当 課長	北海道信用漁業協同組合連合会代表理事副会長であります藤原委員でございます。

藤原委員	藤原です。よろしくお願いいたします。
山口企画調整担当 課長	続きまして、増毛町長の堀委員でございます。
堀委員	増毛町長の堀でございます。どうぞよろしくお願いいたします申し上げます。
山口企画調整担当 課長	続きまして鹿部町長の盛田委員でございます。
盛田委員	盛田です。よろしくお願いいたします。
山口企画調整担当 課長	続きまして、株式会社ラルズ能力開発プロジェクトマネジャーの山田委員でございます。
山田委員	皆さんこんにちは。株式会社ラルズの山田です。どうぞよろしくお願いいたします。
山口企画調整担当 課長	続きまして、旭川消費者協会会長であります渡邊委員でございます。
渡邊委員	旭川消費者協会の渡邊です。旭川は内陸部にありますので、漁業とはちょっと無縁のところがございますけれども、2期目もいろいろと勉強させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。
山口企画調整担当 課長	ありがとうございます。この15名で、第10期の審議会を進めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。
	次に道側の出席者でございますが、前列のみご紹介させていただきます。先ほどご挨拶申し上げました水産林務部長の佐藤でございます。
佐藤水産林務部長	佐藤でございます。よろしくお願いいたします。
山口企画調整担当 課長	次に、水産林務部次長の黒澤でございます。
黒澤次長	黒澤です。よろしくお願いいたします。
山口企画調整担当 課長	次に、水産局長の古村でございます。

古村水産局長	水産局長の古村です。どうぞよろしくお願ひいたします。
山口企画調整担当課長	次に、水産林務部技監の生田でございます。
生田技監	生田でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。
山口企画調整担当課長	次に、水産基盤整備担当局長の矢本でございます。
矢本水産基盤整備担当局長	矢本です。よろしくお願ひいたします。
山口企画調整担当課長	<p>各課の課長等につきましては、お配りしております出席者名簿にてご確認いただければと思います。</p> <p>またご出席の委員の皆様には、発言をされる際などに活用いただける表示札をお送りしておりますので、何かございましたら、画面に映るようにご提示願ひいます。</p> <p>それでは、本日が第 10 期の最初の審議会でありますので、会長・副会長の選出までは、水産林務部長の佐藤が仮議長として進めさせていただきます。</p>
佐藤水産林務部長	<p>それでは仮議長を務めさせていただきます。</p> <p>本日の出席状況でございますが、委員 15 名の皆様全員がオンラインで出席をされておりますので、北海道水産業・漁村振興条例第 27 条 2 の規定により、本審議会は成立をしていることをご報告申し上げます。</p> <p>それでは早速議事に入らせていただきます。議題の（1）会長及び副会長の選出についてでございます。水産業・漁村振興条例第 26 条により、「会長及び副会長は委員が互選する」と規定されておりますが、選出の方法はいかがいたしましょうか。</p>
藤原委員	推薦がよろしいかと思いますが、いかがでしょうか。
佐藤水産林務部長	<p>ただいま藤原委員から推薦で、というご発言ございました。皆様いかがでございますか。</p> <p>（委員全員「賛成」の表示札提示）</p>
佐藤水産林務部長	委員の皆様から賛成の意思表示がございました。それでは推薦ということで進めさせていただきたいと思いますが、委員の皆様からご推薦をいただけますでしょうか。

藤原委員

甚だ僭越ですけれども、大変ご苦勞をおかけすることになります。会長には前期に引き続きまして、漁連会長の川崎委員、副会長には北大の木村委員を推薦いたします。よろしくお願いいたします。

佐藤水産林務部長

ただいま藤原委員から、会長には川崎委員、副会長には木村委員との推薦がございました。皆様いかがでございますか。

(委員全員「賛成」の表示札提示)

佐藤水産林務部長

皆様の同意をいただきましたので、会長は川崎委員、副会長は木村委員をお願いをしたいと思います。以上をもちまして私の仮議長としての役割を終えさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

山口企画調整担当  
課長

それでは、川崎会長、木村副会長から就任のご挨拶をいただきたいと思えます。川崎会長よろしくお願いいたします。

川崎会長

ただ今、ご推薦をいただきました、北海道漁連の川崎です。

今期、会長職を務めさせていただきますので、前期同様、ご指導願いたいと思えます。

去年は北海道でも稀に見るといっても、初めての赤潮が道東を中心に発生しまして、ウニ、ツブ等に大きな影響がありました。それが今年の海に果たして影響が繋がっているのかは、今年も操業してみなければわかりません。コンブなどの問題についてもはっきりしておりません。また、沖合漁業、特にサンマ、イカの大不漁が昨今続いておりますが、今後も続けていくのかを北海道、あるいは国をお願いをし、できるだけ早くご連絡をいただけるような体制を取りたいと北海道漁連として考えていたところであります。

このような状況下で、北海道における水産業、我々漁業者だけでなく、獲ってきた魚を使っただけの皆さん、あるいは流通に関わる人、消費者の皆さんに大きな変化をもたらすのではないかと思ひ、大変心配をしているところもあります。

今年度、皆様方と協力をしていながら、北海道の水産業界をしっかりと支えていければと思っておりますので、皆様のご協力を心からお願いを申し上げまして、ご挨拶に代えさせていただくところであります。よろしくお願いいたします。

山口企画調整担当  
課長

川崎会長ありがとうございました。続きまして、木村副会長お願いいたします。

木村副会長

ご推薦いただきまして、前期に引き続き、副会長を務めさせていただくことになりました北大の木村でございます。

先ほど、水産林務部の佐藤部長や川崎会長からもお話がございましたように、長引くコロナ禍の中で、北海道の水産業を取り巻く環境というのは非常に厳しい状況が続いております。皆様ご存知の通り、地球温暖化が急速に進み、様々な環境への影響が顕在化しております。海洋への影響も深刻で、一次産業、特に水産業への影響が大きく、主要産業の一つである北海道にとっては、非常に大きな影響となっております。

単純に、地球温暖化や、環境変動とまとめるには問題がありますが、例えばサケの回帰の問題、あるいはサンマの資源の減少、直近では今年の9月の北海道道東沿岸の秋サケやウニの大量へい死が相次ぎ、甚大な被害があった赤潮の問題が挙げられます。国際的な取組である、持続可能な開発目標SDGsの14番目の目標として、海洋と水産資源を持続的な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用することが謳われておりますが、本審議会では、こういった北海道が直面する難しい問題を審議できる非常に貴重な場であると思います。本日は微力ではございますが、川崎会長をサポートさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。簡単ではございますが、私からの挨拶とさせていただきます。

山口企画調整担当  
課長

ありがとうございました。ここからの議事進行につきましては、本来であれば、川崎会長にお願いするところでございますが、本日は、オンラインでの開催となっております、会長も厚岸からの参加ですので、円滑な議事進行のため、事務局で進行を務めさせていただきたいと考えますが、川崎会長いかがでしょうか。

(川崎会長「賛成」の表示札提示)

山口企画調整担当  
課長

ありがとうございます。委員の皆様、そのように進めさせていただいてよろしいでしょうか。

(委員全員「賛成」の表示札提示)

山口企画調整担当  
課長

皆さん賛成の表示をいただきましたので、議事については技監の生田が進めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

生田技監

進行役を務めさせていただく、生田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは早速ですが、議題(2)第10期北海道水産業・漁村振興審議会の運営について、担当の方から説明をさせます。

山口企画調整担当  
課長

(「第10期北海道水産業・漁村振興審議会の運営について」資料1-1、2に基づき説明。)

生田技監	<p>ただ今、事務局の方から説明がありました、本審議会の公開と傍聴についてですが、何かご意見ご質問等ございませんでしょうか。特になければ、資料1-2のとおりでよろしいでしょうか。</p> <p>(委員全員「賛成」の表示札提示)</p>
生田技監	<p>それでは、審議会の公開と傍聴につきましては、資料1-2のとおりとさせていただきます。資料1-2に記載がございますが、当審議会の議事録の署名は会長が指名することとなっておりますので、川崎会長の方から、議事録署名委員のご指名をお願いしたいと思います。</p>
川崎会長	<p>それでは、私の方から今回の議事録署名委員を発表させていただきます。伊藤委員と坪江委員をお願いをしたいと思います。お二人には後日、事務局から議事録案がされますので、内容を確認の上、署名をお願いしたいと思います。よろしくどうぞお願いをいたします。</p>
生田技監	<p>ありがとうございます。それでは、議事録署名につきましては、伊藤委員と坪江委員をお願いいたします。</p> <p>次に、議題(3)赤潮等による太平洋沿岸の漁業被害について、担当の方から説明いたします。</p>
山口企画調整担当課長	<p>(「赤潮等による太平洋沿岸の漁業被害について」資料2-1~8に基づき説明。)</p>
生田技監	<p>ただ今、赤潮等による太平洋沿岸の漁業被害について、ご説明しましたけれども、何かご意見ご質問等ありませんでしょうか。渡邊委員どうぞご発言お願いいたします。</p>
渡邊委員	<p>確認なのですが、資料2-6漁業振興資金の災害枠、説明では2億円の活用ということを言われたのですが、いただいている資料では1億円となっているのですが、2億円で間違いないということでしょうか。</p>
古村水産局長	<p>お送りした資料が誤っていたようです。大変申し訳ございません。2億円で間違いないです。</p>
生田技監	<p>続きまして、何かご意見ご質問等ございませんでしょうか。それでは、増毛町長の堀委員よろしくお願いいたします。</p>
堀委員	<p>この度の太平洋沿岸の赤潮被害に対しまして、お願いを申し上げたいと思います。今回は太平洋での被害でありましたが、全道に広がるような状況は考え</p>